

令和5年度 研究・教育支援人材向け自己開発研修プログラム

実施要項

1. 目的と概要

研究・教育支援に携わる人材は、それぞれが高い専門技術を持ち、主体的に本学の研究・教育活動を支えています。これらの人材のさらなる活躍は、仕事を愉しみ・人生を豊かにするという面だけでなく、本学の研究力向上においても欠かせません。

本研修プログラムでは、これら研究・教育支援に関わる人材が「自らの価値観や大切にしている事柄（心のスイッチ）がどこにあるのかに気づき、その“心のスイッチ”を上手に活かせるようになることで、より仕事（業務）を愉しみ、人生をより豊かにし、また、それらが仕事や人生において良い循環を生んでいくよう」になることを目的に、そのアプローチを学んでいきます。

本研修は、特に本学において研究・教育支援に携わる人材向けに、コアファシリティ機構研究支援人材育成部門と外部人材育成コンサルタントとで自主開発したものです。開発者である外部人材コンサルタントが講師を務めます。

2. 対象者

研究・教育支援業務を担う本学の教職員（特任を含む技術職員、URA、教員、研究員や事務職員など。）技術補佐員、事務補佐員は除く。

全ての日程を受講可能な方。

3. 参加人員

15名程度（定員を大幅に超える応募があった場合には、コアファシリティ構築支援プログラムの趣旨に基づき人数調整させて頂くことがあります。）

4. 期間等

令和5年10月31日（火）・11月1日（水）

1日目 9：00～17：15（ステップ1と2）

2日目 13：00～17：00（ステップ3）

（ステップ1－3全ての受講が必要です）

5. 場 所

豊中キャンパス 文理融合型研究棟 7階 共通講義室3

6. 日 程

別紙のとおり

7. 費用等

研修費は無料です。ただし、旅費等については参加者の所属する部局等でご負担頂きます。

8. 研修内容

研究・教育支援業務を担う本学の教職員向けに、人材育成コンサルタント会社と共同開発した自己開発研修プログラムです。詳細は別紙を参照ください。

講師：オフィスFサポート 吉田 富士江 先生

ステップ① 役割・目標の認識

自分の役割・到達目標を再確認しよう。

ステップ② パートナーシップと対話スキル

コミュニケーションスキルを高め、ステークホルダーとの関係性を強化しよう。

ステップ③ 深い自己理解を活かして

自己理解を深め、自律的な自己開発や人生のデザインを通じ、やりがい・充実感を増していけるようになろう。

9. 主 催

コアファシリティ機構 (<https://corefc.osaka-u.ac.jp>)

10. 備 考

- (1) 3つのステップはそれぞれ関連していますので、必ず3つのステップを受講してください。
- (2) 本研修は、令和3年度・令和4年度に開催した研究・教育支援人材向け自己開発研修プログラムと同じ内容です。
- (3) 研修終了後、研修内容についてのアンケートを実施しますので、回答にご協力願います。
- (4) 本取組は、本学が採択された文部科学省先端研究基盤共用促進事業（コアファシリティ構築支援プログラム）（事業期間：令和3～7年度）の一環として行っています。詳細は以下のWebサイトをご覧ください。
コアファシリティ機構：<https://corefc.osaka-u.ac.jp>
研究支援人材育成部門：<https://top.opf.osaka-u.ac.jp>